

平成31年3月期 第2四半期

決算・会社説明会資料

株式会社インターワークス（6032）

1

平成31年3月期 上期業績概要

2

平成31年3月期 上期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第3四半期の足元の状況

4

Appendix

1-1 上期業績概要（全体）

上期は成長投資と構造改革を実施したことにより減益であるものの、増収を維持。営業利益の前年同期比は1Qと比べて2Qは改善し、上期としては概ね計画通り。

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		上期		
	当期	前年同期比	当期	前年同期比	当期	前期	前年累計比
売上高	1,042	103.4%	942	101.5%	1,985	1,937	102.5%
営業利益	115	70.5%	110	87.8%	226	290	78.0%
経常利益	115	70.0%	115	91.3%	231	291	79.3%
当期純利益	76	68.9%	75	110.4%	152	179	84.6%

1-2 上期業績概要（各事業）

エグゼクティブサマリ

M & S 事業

主力の工場ワークスは1Qに引き続き2Qも前年同期比108%と増収。
前年累計比では109%と堅調に増収。
メディア価値を高めるためにエンジニアを増員し、戦略的アライアンスも実施。

人材紹介事業

売上高は前年累計比128%、営業利益は同229%と増収増益。
引き続きコンサルタントの増員と戦力化を行い、KPIマネジメントを徹底することで下期から成約件数を前年比1.5倍のペースで進める。

採用支援事業

事業構造改革を推し進め、従来型の採用アウトソーシング事業の売上を戦略的に減らしていることにより減収減益であるが、2Qは粗利率を1Q対比で13ポイント改善。
また、HR-Technologyサービスの受注は計画通りの進捗と好調。
HR-Technologyサービス「TAIS（タイス）」は「第3回HRテクノロジー大賞」採用サービス部門優秀賞を受賞。

1

平成31年3月期 上期業績概要

2

平成31年3月期 上期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第3四半期の足元の状況

4

Appendix

2-1 M&S事業の状況

主力の工場ワークスの2Q売上高は、前年同期比108%、1Q対比で109%と堅調に推移。7月に工場ワークス単体で154百万円と過去最高売上高を実現したことで、M&S事業としても170百万円と過去最高売上高を達成。

単位：百万円

当期累計

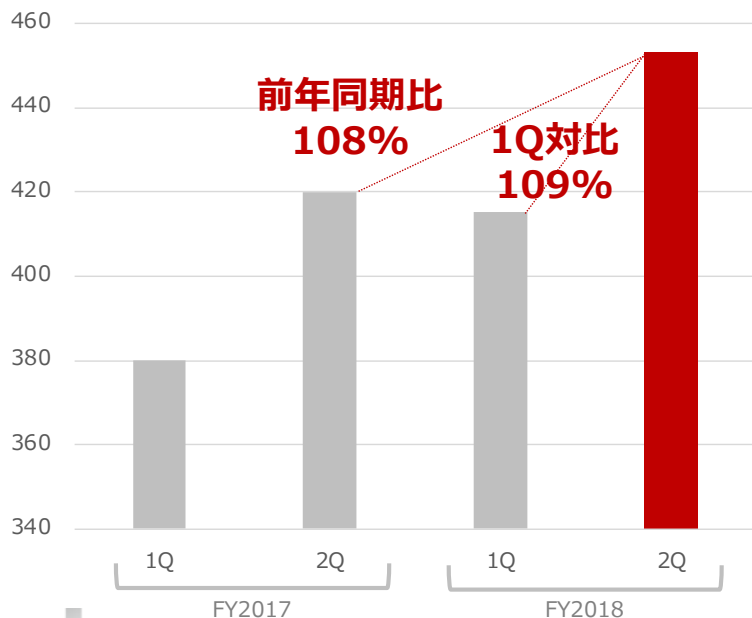
前期累計

前年累計比

M&S事業 (メディア事業)	売上高	964	951	101.4%
	営業利益	217	267	81.2%

【工場ワークス 売上高2Q実績】

単位：百万円



その他概況

- メディア価値向上のために、エンジニアの正社員数を前年比で倍増。引き続き、成長戦略に沿った形で工場タイムズおよび新メディアであるドライバータイムズへの投資、新基盤（システムプラットフォーム）への開発投資を実施
- 減益となるも、戦略投資と募集激化に伴う広告費の投下分を除くと、営業利益も堅調な推移
- 戦略的アライアンスも推進中(※)
 - 2018/08/21 『Iteer (アイティア)』プロジェクト始動

(※) Appendix参照

2-2 紹介事業の状況

前年累計比で成約単価が107%、成約件数が112%と向上。成約の一部が10月にスライドしたが、売上高は前年累計比128%、営業利益は同229%と増収増益。7月に過去最高の成約件数および過去最高売上高となる111百万円を達成。

単位：百万円

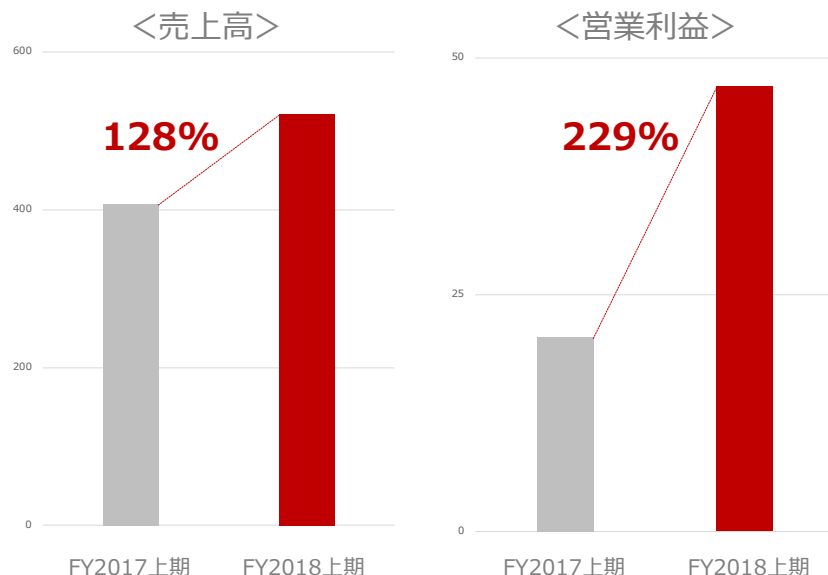
当期累計

前期累計

前年累計比

紹介事業	売上高	521	406	128.1%
	営業利益	47	20	229.4%

【売上高・営業利益 推移】 単位：百万円



その他概況

- 引き続きコンサルタントの増員と戦力化を行い、KPIマネジメントを徹底することで下期から成約件数を前年比1.5倍のペースで進める
- 先行指標である面談数、推薦数、面接設定数は全て1.5倍以上で推移中
- 求職者のソーシング力強化のため、自社集客サイトをリニューアル

2-3 採用支援事業の状況

事業構造改革を推し進め、HR-Technologyサービスに注力。HR-Technologyサービスの受注は計画通りの進捗と好調。上期は新卒採用戦線の早期終了に伴い減収となるも、体質改善により、2Qの粗利率は1Q対比で13ポイント改善。

単位：百万円

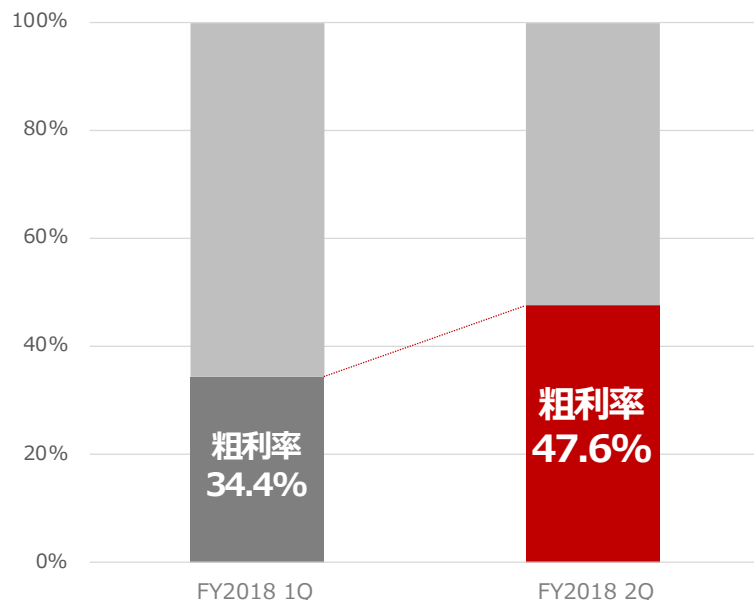
当期累計

前期累計

前年累計比

採用支援事業	売上高	499	578	86.4%
	営業利益	▲37	1	-

【粗利率の改善】



その他概況

- 2Qの営業損失は前年同期比で縮小
- HR-Technologyサービスの受注額が約100百万円に到達（計画通りの進捗と好調）
- RPA商材（ReBOT）が23社で稼働中(※)
- HR-Technologyサービス「TAIS（タイス）」が「第3回HRテクノロジー大賞」採用サービス部門優秀賞を受賞

※RPA：Robotic Process Automation の略

1

平成31年3月期 上期業績概要

2

平成31年3月期 上期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第3四半期の足元の状況

4

Appendix

3 第3四半期の足元の状況（10月度の立ち上がり）

M & S 事業

広告費は前年同期比で同等ながら、工場ワークス単体の売上高は**前年同月比119%**と堅調に推移。7月に続き、**過去最高売上高**を更新する見通しであり、着実に収益力が向上。引き続き、メディア価値向上のための投資は継続実施。

人材紹介事業

月初時点で前年同期比1割増のコンサルタントが在籍し、**単月で168百万円と過去最高売上高**を更新する見通し。引き続きコンサルタントの増員と戦力化、およびKPIマネジメントを徹底することで、下期から成約件数を**前年比1.5倍**のペースで進める。

採用支援事業

HR-Technologyを利用した業務フローの自動化により、**粗利率が50%超**となる見込み。営業活動においても引き続きHR-Technologyサービスの受注に注力。特にRPA商材（ReBOT）は**今期100社**の受注見通しと順調。

1

平成31年3月期 上期業績概要

2

平成31年3月期 上期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第3四半期の足元の状況

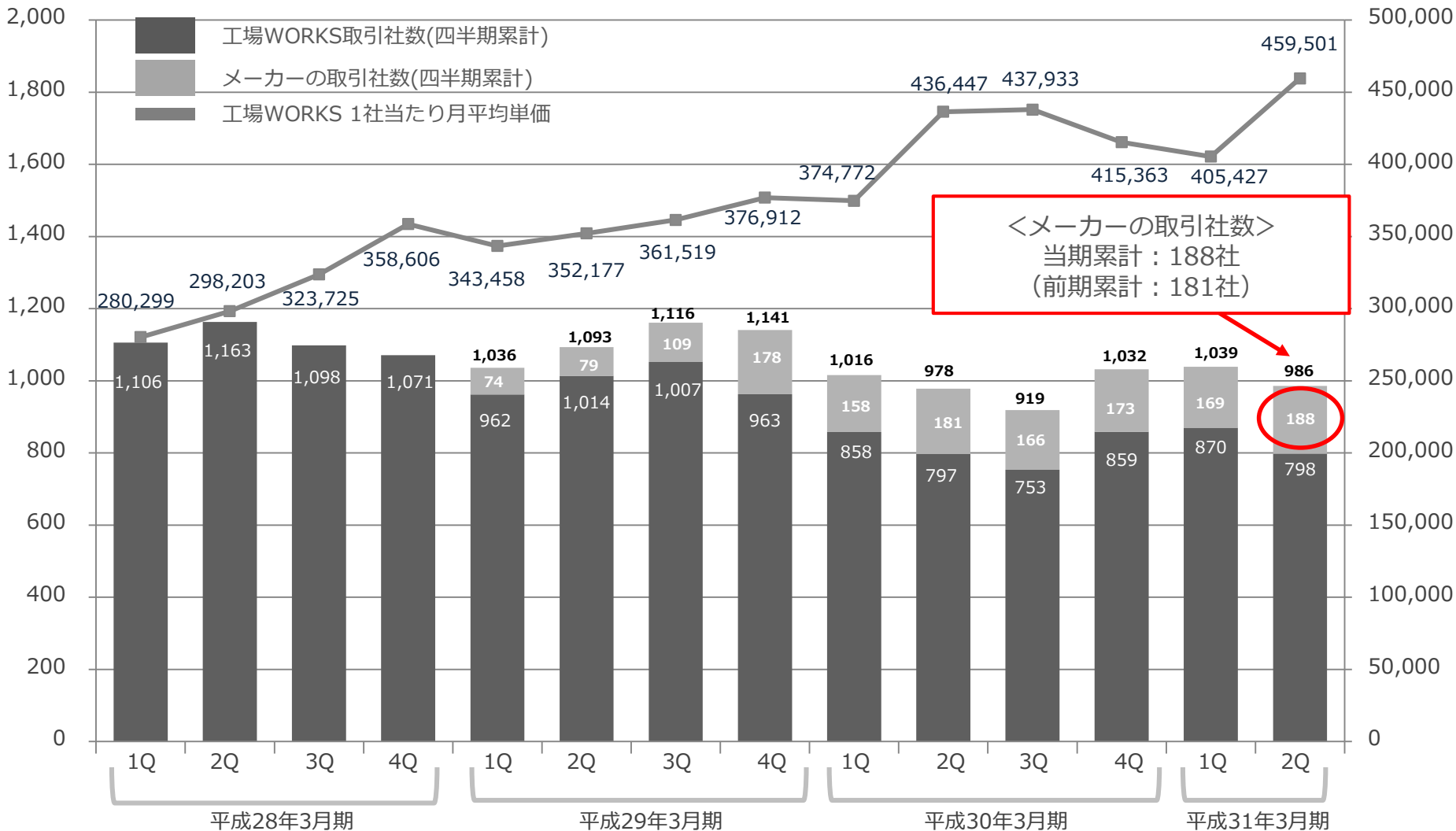
4

Appendix

<参考> 工場WORKS 1社あたり単価/取引社数

単位：社

単位：円

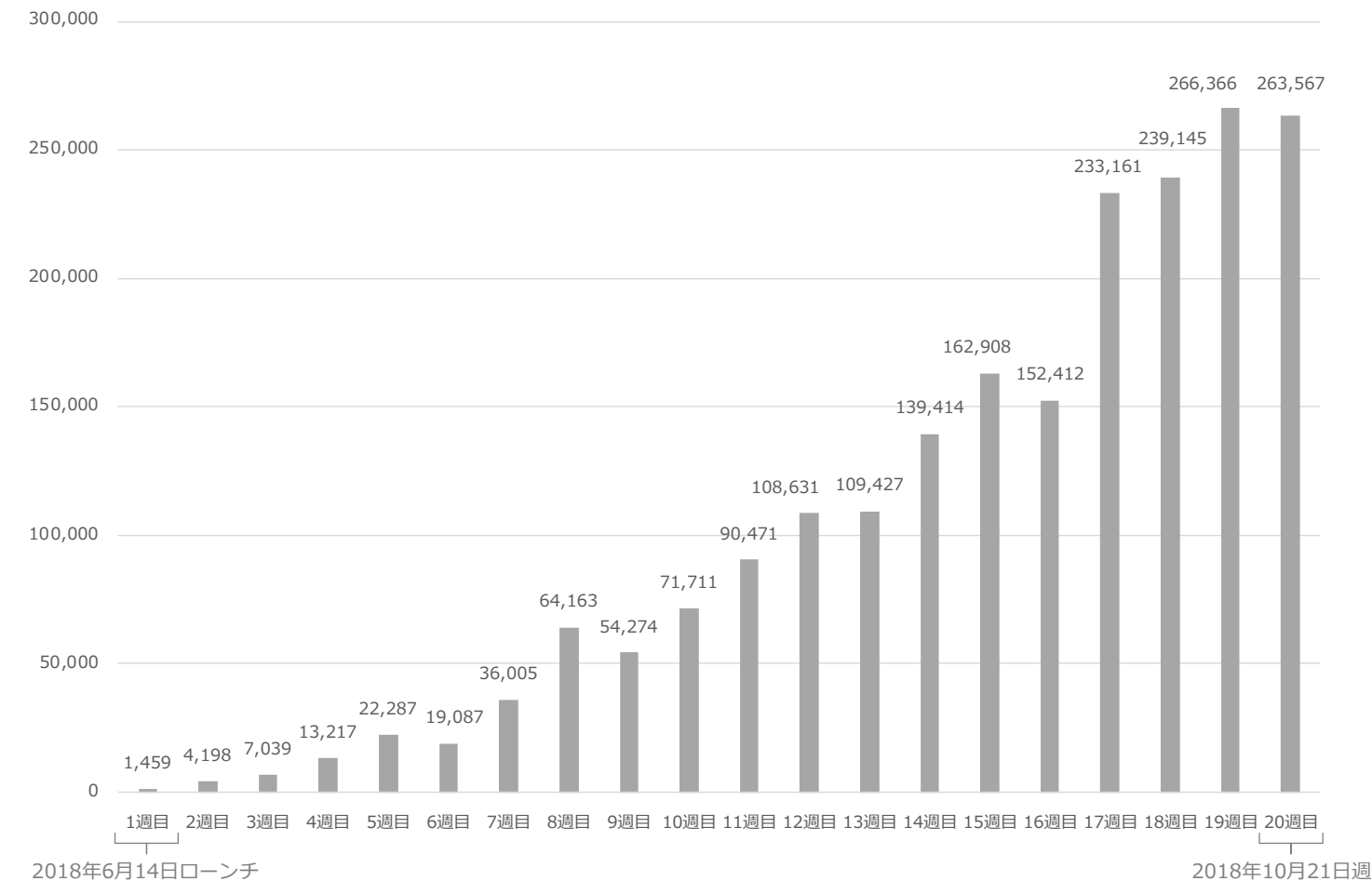


<メーカーの取引社数>
 当期累計：188社
 (前期累計：181社)

<参考> ドライバータイムズPV数推移

メディア立ち上げ4ヶ月で、10月は1,000,000PV/月を突破。
来期に採用広告、人材紹介での収益モデルをスタートさせ、収益化の予定。

単位：PV



<参考> 『Iteer』 (アイティア) プロジェクト

未経験者に給与を支払いながら「育成」し、企業に「紹介」する、「実務研修」と「転職支援」が一体となったIT人材育成型人材紹介事業。
工場ワークスのユーザーに対しての付加価値を提供。



<参考> 「TAIS (タイス)」 受賞実績



第3回HRテクノロジー大賞 採用サービス部門優秀賞



東洋経済新報社

人事マネジメント



HR総研
HR Research Institute

採用サービス部門優秀賞



日本データビジョン株式会社

TAIS (Talent Acquisition Intelligence Service)

多様化する採用状況を可視化し、AIによる採用フローの最適化を実現。
採用フローの一部をRPAで実施するのではなく、事務作業の全業務
(説明会、面接等は除く)をデジタルレイバーで完全自動化した点が評
価されました。

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2018年11月1日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がございます。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。